

A2079 ホキ10000 太平洋セメント 10両セット **再生産**

予価：¥19,580 (本体価格 ¥17,800)

対象年齢14歳以上

商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

ブックケース入 (カートン入数：12)

実車紹介

ホキ10000は1980年から翌年に掛けて製造された35t積の石炭専用底開き式ホッパー車です。当時オイルショックの影響で石炭輸送の需要が高まり、秩父セメント (現：太平洋セメント) 及び電気化学工業向けに2年間に272両が登場しました。

秩父セメント車は主に鶴見線扇町駅～秩父鉄道三ヶ尻駅の間で使用され、石炭を積んだ同車は扇町駅を20両編成で出発しJR線内を走行、熊谷貨物ターミナル到着後に編成を分割して、秩父鉄道線内は10両編成2本として三ヶ尻駅へ送られました。2000年には中部国際空港建設に伴い約100両が三岐鉄道に活躍の場を移し、骨材輸送用として使用されました。

その後は車体の社名標記が2008年2月頃より順次「太平洋セメント」に改められました。2020年3月を以って秩父鉄道三ヶ尻駅までの石炭輸送が終了し、ホキ10000は引退しました。

編成図

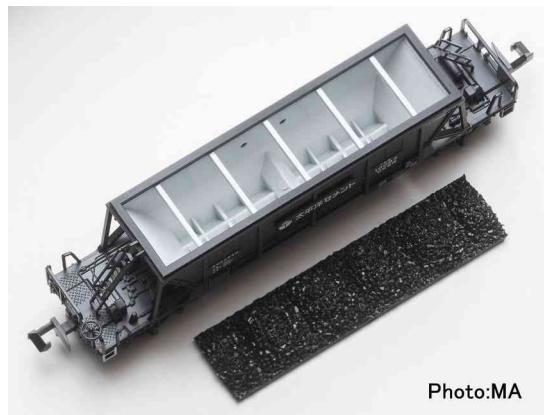
ホキ10087	ホキ10193	ホキ10092	ホキ10039	ホキ10231	ホキ10239	ホキ10129	ホキ10098	ホキ10090	ホキ10125
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

※ 本セットに動力は含まれません。走行には別途動力車が必要です

商品概要

- 2020年3月実車引退後、9月に製品を発売したA2079 ホキ10000を待望の再生産
 - A2089 (2012年9月出荷) をベースに関東地区で石炭輸送に使用されたグループを再現
 - 石炭専用、常備駅などの各種表記を実車に則して再現
 - 石炭を模した積荷部品を搭載。取り外しも可能
 - 社名板は別部品で取付
 - 1セット単独で秩父鉄道線で運行された姿を、2セット連結でJR線で運行された姿を再現可能
- ※本製品には動力車は含まれません。走行には別途動力車が必要です

太平洋セメント株式会社承認済



付属品

反射板

オプション

室内灯 非対応

カプラー

非対応



株式会社 マイクロエース

TEL：048-444-2944

FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです